

参加者の資格について

下記の『「全世代」が掲げる価値観』及び『「全世代」のルール』に賛同する人なら誰でも参加できる。参加者はそれぞれが属する組織の代表者ではなく、一市民、一個人の立場に立つ。会議に直接参加できない人も、名前を明記しネット上での意見表明を可能とする。日本に住んでいれば国籍は問わず、海外在住の日本人は参加できる。

「全世代」が掲げる価値観

1. 今の世代だけの利益を追求するのではなく、将来世代の社会づくりに貢献する。
2. 個人や組織の利害、政治的立場イデオロギーにとらわれず、社会や地域の未来を志向する。
3. 個人の自由や権利を尊重する一方、パブリックの利益・公益性も重視する。

「全世代」のルール

1. 「全世代」への参加前の自分の意見を絶対視することなく、他者の意見でも良い点があれば採用するオープンな態度を参加者は共有する。つまり「対立」ではなく「対話」を目指す。
2. 「提言書」の作成に当たっては、参加者の個人的経験や願いだけに基づくのではなく、多くの人に納得してもらえる「根拠に基づいた議論」を通して行う。
3. 専門的な議論であっても、「分かりやすい言葉」で表現し、多くの人々の理解を得る。
4. 毎回の「全世代」会議終了後、事務局が中心となり、▽合意された点▽まだ合意に達しない点▽異なる意見のそれぞれの根拠などを、まとめて議事録を作成する。会議の効率的な運営の為、次回の会議の参加者は、議事録を読んで参加すること、前回の会議で合意に達しない点を中心に議論することを原則とする。

「全世代」運営のための費用負担

1. NPO 法人として活動を長く持続させるために法人として独自の財源確保の活動を行う。
2. 設立の趣旨に共鳴してくれた個人や組織に原則、寄付をお願いする。
3. 発起人は基本1万円の年会費を納める。但し、若年層の収入事情などを考慮し、会費は一口千円から受け付ける。年会費納入ができない人も「自分に出来ることで貢献する」との考えに立ち、会議への参加を認める。